

構成員名	令和3年度活動計画			構成員へメッセージ
	活動の内容及び実施予定時期	参集者・連携団体	目標・実施内容等	
信州諏訪農業協同組合	<p>【湖沼の対策】</p> <p>① (1) 下諏訪「環境の日一斉清掃」参加 5月30日(日) (2) 岡谷市「諏訪湖・河川一斉清掃」参加 5月30日(日) (3) 諏訪市「春の全市一斉清掃」参加 5月30日(日) ② 諏訪湖に関する学習活動に参加 ③ 手作業によるヒシ除去作業に参加 ④ 諏訪湖を綺麗にしちゃいましょう大☆作☆戦に協賛</p> <p>【流出水対策】</p> <p>① 土壌診断事業による適正施肥の推進 ② わたしの肥料による減肥の取組拡大 ③ ヒシ堆肥(すわこヒシパワー) 販売 ④ 肥料・農薬等かけ流し防止 ⑤ 環境にやさしい農業への取組 ⑥ GAPへの取り組み</p>	<p>① 全役職員 ② 職員 ③ 職員</p>	<p>① 役職員全員*が環境整備に参加 (*諏訪湖周に勤務または居住) ②～④ 要請に対応</p> <p>② 個人単位施肥設計 オリジナル肥料取扱増 ④ 水稻指導会による止め水管理の徹底 ⑤ JA助成(水稻 レス50+カバークローブ) ・フェロモントラップの情報発信で適期防除を推進 ⑥ 指導会開催による生産者への理解促進</p>	
諏訪湖漁業協同組合	<p>① 漁場環境保全対策 漁場環境の回復に向け、ヒシ除去、清掃活動などの取組を行う。</p> <p>② 食害軽減対策 ブラックバス・ブルーギル等の外来魚及びカワアイサ・カワウ等の魚食性鳥類対策として外来魚駆除や魚食性鳥類の追払いを実施する。 ドローンの活用等による新たな追払い方法の試行等を行って、鳥類による食害への新たな対応策について検討するとともに、魚食性鳥類の生態調査を実施し、効果的な対応策についても検討をすすめる。</p> <p>③ IoTを用いた諏訪湖水質観測プロジェクト(Suwa Smart Society 5.0)</p>	<p>① 組合員</p> <p>② 組合員</p> <p>③ 榎旭、諏訪市産業連携推進室 信大 他</p>	<p>① 漁場の整備 ・ヒシ除去 ・清掃活動 各船着場の清掃・草刈・ヒシ除去等 浮遊ゴミ・沈木除去 アダプトプログラムによる担当区間の清掃 砥川河口河川敷の草刈</p> <p>② (1) 外来魚駆除 ・刺網や電気ショック船を用いた駆除作業。 (2) 魚食性鳥類追払い (3) 魚食性鳥類対策手法の検討</p> <p>③ 水質観測プロジェクト ・測定機器及び体制の確立 ・信大とのデータ連携による検証</p>	<p>『諏訪湖漁業』は『いらぬもの』なのではないでしょうか。H28の大量死やR3年春にワカサギが溯上しなかったことなど、湖内の魚に何が起きているのか、皆さんにも考えていただきたい。</p> <p>一次産業(農林漁業)は、再生産のための余力を残したうえで「利用させていただく」ことが基本であり、生態系を守る産業です。獲り尽せば産業が成り立たなくなります。しかし、今の諏訪湖には再生産のための基盤(水草帯や隠れ場)すらありません。水面の下に目を向けて頂きたい。</p>
諏訪湖周水路復活漕ぎあるきプロジェクト	<p>① 他の団体等とも連携して、諏訪湖及び湖周小河川でのカヤック・カヌー体験講習の実施(5月16日、7月18日、8月29日、10月2日)</p> <p>② 湖畔及び市内河川清掃(ゴミ拾い)</p> <p>③ 諏訪市内を流れる河川を水辺から見直し、【水郷の街】として、その復活の可能性を探る。</p> <p>④ 3年目の「諏訪湖の日」のイベント10月2日カヤック・カヌー漕ぎあるき企画</p>	<p>① 漕ぎあるきプロジェクト ② NPO法人絆 JAPAN ③ 諏訪湖カヤック</p>	<p>湖周小河川の清掃活動などを行いながら、街中河川の持つ自然環境・カヤック航行の維持を管理者と共に、かつての水路としての機能をカヤック・カヌーを利用して【水郷の街・学びのフィールドワーク】として復活させ、中門川・衣の渡川などをカヤックの周遊コースとして新たなアクティビティの創出を探る。 ※河川管理者との連携・意識の共有を持ちたい。</p>	<p>我々の構想を提案できる、河川管理者との話し合いの場を設けて欲しいです。</p>

構成員名	令和3年度活動計画			構成員へメッセージ
	活動の内容及び実施予定時期	参集者・連携団体	目標・実施内容等	
下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会	<p>① 湖岸清掃：4月～3月（12回） ・毎月、下諏訪町内の指定した区域で、諏訪湖岸のごみ拾いを行う。 また、町による町内一斉清掃活動へも協力。（5月、10月） 【4月、5月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】</p> <p>② 水辺のごみ調査：4月～11月（6回） ・湖岸清掃に合わせて、拾ったごみの種類と量を記録する。 【4月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】</p> <p>③ アレチウリの除去作業：4月～9月（6回） ・湖岸清掃に合わせて、侵略的外来種であるアレチウリの除去を行う。 【4月、5月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止】</p> <p>④ 諏訪湖浄化講演会の開催 ・下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会の40周年記念事業の代替事業として諏訪湖浄化や河川のごみ問題を考える講演会を開催予定。</p> <p>⑤ 小学生に対する環境学習 ・小学生に対する環境学習を実施し、身近な環境について学んでもらう。</p> <p>⑥ 諏訪湖クリーン祭の開催：8月8日（日） ・各団体によるブース展示、湖上観察会や親子のボート教室などを通して、参加者が諏訪湖に親しむイベントを開催。</p>	<p>① ・②・③・④ 下諏訪町民、湖浄連会員等</p> <p>⑤ 下諏訪町内小学生</p> <p>⑥ 下諏訪町民、湖浄連会員、各種団体等</p>	<p>① 諏訪湖に漂着したごみを拾うことで、環境美化及び景観の保持につなげる。</p> <p>② 清掃参加者でグループを作り、湖岸清掃で拾ったごみの種類と量を記録する。継続して実施することで、ごみの多い場所や時期、種類など諏訪湖のごみの傾向を把握し、今後の浄化活動につなげていくための資料とする。</p> <p>③ 湖岸清掃に合わせてアレチウリの除去を行うことで在来種を守り、生態系の保全につなげる。</p> <p>④ 諏訪湖に関する講演会を通して、多くの人にごみ問題について考えてもらう機会とする。</p> <p>⑤ ごみが環境へ与える影響を学び、実際のごみ拾い体験やグループでのまとめを通して、ごみ問題についての理解を深めてもらう。</p> <p>⑥ ブース展示や様々な催しを通して、参加者に楽しみながら諏訪湖とふれあいを持ち、諏訪湖に親しんでもらう。</p>	<p>昨年度、下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会（湖浄連）は設立40周年を迎えました。 今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため行うことが出来なかった設立40周年記念事業の代替事業を行います。 これからの活動が、美しい諏訪湖を次の世代へ受け継がれていく礎になるように活動を進めていきます。</p>
諏訪湖クラブ	<p>① ヒシ除去作業への協力（長野県の設定時期）</p> <p>② 全国一斉水質調査に参加（世界環境デー6月6日、諏訪湖・天竜川水系30地点を担当。「信州水環境マップネットワーク」による長野県内全域の水質状況マップを作成。</p> <p>③ 諏訪湖創生ビジョン推進会議事務局に参加、事務局会議に出席（2か月に1回）</p> <p>④ 諏訪湖浄化関連事業：ナノバブルを利用した諏訪湖の浄化実験の実施（平成29～30年度）結果を参考にして、沿岸域での水質・底質浄化計画を策定し、関係自治体、関連民間企業の協力を得て実施に向けての作業を行う。</p> <p>⑤ 中学生、一般向け諏訪湖読本「散歩しながら諏訪湖に学ぶ」（2020年印刷済み）の配布とメディアとの連携による諏訪湖環境保全推進活動の実践的取り組み</p> <p>⑥ 理事会（毎月1回）の開催と年1回の総会開催</p>	<p>① 若干名</p> <p>② 8名+長野県内30団体</p> <p>③ 事務局会議4名参加、諏訪湖通信編集2名</p> <p>④ 会員10名、関連自治体、民間企業</p> <p>④ クラブ員全員</p> <p>⑥ 理事会は毎回10名前後が出席</p>	<p>① ヒシの繁殖現状を把握、課題を理解</p> <p>② 全国運営委員会に長野県代表として参加、長野県内の水質マップを運営、約30団体により、約380地点での測定を行い、長野県水環境マップを作製する。結果は各地の環境フェアにて公開、参加者の拡大を図る。</p> <p>③ 毎回の事務局会議で推進会議の運営について意見交換し、毎月発行の「諏訪湖通信」編集に協力、諏訪湖に関わる情報を紹介する</p> <p>④ 昨年度までの、湖水の上下循環システムの手法とナノバブル利用の有効性、水中カメラによる現場状況確認の有効性等の成果を基礎にして、現実の諏訪湖浄化への適用課題を整理し、諏訪湖沿岸域浄化への現実的適用案を策定、提案する。</p> <p>⑤ 2020年に完成、印刷した「散歩しながら諏訪湖に学ぶ」を増刷し、諏訪圏域の中学校、高校、大学等に広く配布し、活用を進める。同時に諏訪地域のメディアと協力し、LCVでの映像番組の作成、放映（202年1月～6月）、新聞による同様記事の特集掲載、その内容のDVD化を行い、諏訪湖環境保全意識向上の広報活動に資する。</p> <p>⑦ 理事会は拡大理事会として会員の参加は自由とし、会員以外への出席もあり、地域の課題等について意見交換を行い、他団体、地域自治体との協働活動への参加を進めている</p>	<p>現在の取組の中心は諏訪湖のさらなる浄化と環境保全活動への協力として公民協働による環境保全活動の推進手法の提案である。 諏訪湖創生ビジョンが掲げている「泳ぎたくなる諏訪湖」実現へ向けての具体的な提案、試行と実践的な公民協働ができることを期待している。 諏訪湖浄化が単なる湖の浄化活動ではなく、地域の環境保全を意識した諏訪地域全体のまちづくりの一環として行われることを常に念頭に置いて進めていきたい。</p>

構成員名	令和3年度活動計画			構成員へメッセージ																					
	活動の内容及び実施予定時期	参集者・連携団体	目標・実施内容等																						
諏訪湖白鳥の会	<table border="1"> <thead> <tr> <th>活動日</th> <th>活動内容（横河川河口）</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3.5.23</td> <td>アレチウリ抜き取り、ゴミ拾い</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>3.6.20</td> <td>草刈り、ゴミ拾い</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>3.8.22</td> <td>草刈り、ゴミ拾い</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>3.10.17</td> <td>草刈り、ゴミ拾い</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>3.10.20</td> <td>草刈り</td> <td>5人（他に県・市数人）</td> </tr> <tr> <td>3.11.中旬～</td> <td>白鳥の観察、記録～4.2.下旬まで</td> <td>毎朝1～2人</td> </tr> </tbody> </table>	活動日	活動内容（横河川河口）	人数	3.5.23	アレチウリ抜き取り、ゴミ拾い	5人	3.6.20	草刈り、ゴミ拾い	5人	3.8.22	草刈り、ゴミ拾い	5人	3.10.17	草刈り、ゴミ拾い	5人	3.10.20	草刈り	5人（他に県・市数人）	3.11.中旬～	白鳥の観察、記録～4.2.下旬まで	毎朝1～2人	左記のとおり	白鳥飛来地の環境整備により、湖岸来訪者に良好な景観を提供し、諏訪湖への理解を深めてもらう。	
活動日	活動内容（横河川河口）	人数																							
3.5.23	アレチウリ抜き取り、ゴミ拾い	5人																							
3.6.20	草刈り、ゴミ拾い	5人																							
3.8.22	草刈り、ゴミ拾い	5人																							
3.10.17	草刈り、ゴミ拾い	5人																							
3.10.20	草刈り	5人（他に県・市数人）																							
3.11.中旬～	白鳥の観察、記録～4.2.下旬まで	毎朝1～2人																							
（一社）諏訪観光協会	① 諏訪湖開き 4月12日八劔神社にて関係者のみで開催 ② わかさぎ釣り安全祈願祭 10月開催予定 ③ 諏訪湖遊覧船初日の出号 令和4年1月1日 調整中	コロナ禍、実施する事業に応じて人数制限を行いながら開催いたします。	新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み対応。実施の場合は、感染症対策を十分に行い開催。	コロナ禍において実施できる事業並びに人数制限を行っての開催となっておりますことご容赦願います。																					
建設業協会諏訪支部	・河川愛護活動（諏訪湖アダプトプログラム）の実施 令和3年6月、8月、10月 その他、会員企業によるアダプトプログラムの実施 ・諏訪湖創生ビジョン推進会議によるヒシ除去作業への参加	・河川愛護活動への参加者は延べ25名程度 ・推進会議によるヒシ除去作業への参加者は前年並み	・清掃活動等による諏訪湖周辺エリアの美化																						
諏訪湖ライオンズクラブ	① 10月6日（予定）諏訪湖創生ビジョン参加 ② 3月環境保全事業	諏訪湖ライオンズクラブ会員ならびに諏訪地域の青少年とともに参加予定	生態系への影響などが懸念される浮葉植物のヒシが諏訪湖面に大量繁茂しているため、その実を集め活用しようと挑む“NPO法人諏訪市セーリング協会”のヒシ取り活動に協力 その他、初島の清掃																						
一般社団法人大昔調査会 曾根遺跡研究会	1) 「諏訪地域日本遺産活用促進ウォーキングガイド第2集」作成 「日本遺産：星降る中部高地の縄文世界」を構成する文化財（遺跡・史跡）及び周辺観光スポットを紹介するウォーキングガイド第2集作成事業（3月末完成予定） ⇒ 市民の学習や観光客の見学等に活用 (2) 「すわ大昔フォーラム」諏訪の歴史・考古学講座（諏訪市博物館・ふるさと文化を語り継ぐ会と共催） 当面は、オンライン講座として開催（通年で年6回以上）	(1)ウォーキングガイド第2集の原案作成のため、会員・市民が参加する。（10名×6市町村分） (2)「すわ大昔フォーラム」 諏訪の歴史・考古学講座（諏訪市博物館等と共催）オンライン講座は年6回以上×平均視聴者 約100名）	(1)「諏訪地域日本遺産活用促進ウォーキングガイド第2集」作成・完成→6市町村などに配布（3月末予定） ⇒ 市民の学習や観光客の見学等に活用 (2) 諏訪市博物館と共催する「すわ大昔フォーラム」等について、当面はオンライン講座として連続開催する。社会情勢が回復すれば、対面方式の講座等も計画する予定。	・諏訪湖の保全や市民による学習に際して、湖底「曾根遺跡」や、諏訪湖周辺の遺跡・史跡の存在を意識し、明確化したいと思っています。 ・歴史、文化系のイベントでお手伝いできることがあればご連絡ください。																					
（株）みのり建設環境事業部	ヒシと周辺地域の雑草や霧ヶ峰のススキ等の刈草を用い、持続可能な循環型社会の実現に向けた研究を実施。 通年：食品製造会社からの動植物性残さ、学校給食などの生ごみ、地域の草木類や牛ふんを原料にした堆肥づくり。 夏期：ヒシの受入、堆肥化	地域の子供達、農業者、環境活動参加者	諏訪湖の有機物資源の農地還元。																						

構成員名	令和3年度活動計画			構成員へメッセージ
	活動の内容及び実施予定時期	参集者・連携団体	目標・実施内容等	
あってもいい な夢工場 湖 の驛プロジェ クト	<ul style="list-style-type: none"> 人工渚 水辺づくり（岡谷市湊） コロナの状況により、秋ごろに実施予定 小石等の移動作業（以降毎週日曜日に作業を行う予定） イベント（マス・うなぎの放流、つかみ取り）を行う予定 <p>○元気づくり支援金事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諏訪湖ストーリー作成 ・一般市民対象のワークショップ開催 （6/22(火)から毎月1回開催） <p>※新型コロナ対策優先にて実施</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの夢を叶えよう！とスタートし4年、ボランティア活動で大人自身が楽しみ喜びに発展し、盛り上がっている。また、各方面から賛同や励ましの声が寄せられるようになった。特に人工渚の活用について関心が強まって参りました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・諏訪湖で水遊びしたい。泳ぎたい…との子供の声が増え、山きかれて参りました。今取り組んでいる人工渚から他にも広がってくれればと願っています。 ・県にはもう一度見直しをし、子どもの夢を叶えられる渚と一緒に取り組んでほしい。 ・釜口水門の舟通し活用については、今後ご協力をよろしくお願い致します。 ・江戸時代から明治初期に諏訪湖・天竜川に関連した歴史上の自然、文化、人物が多く存在しておりました。 天竜川の源流には弁財天島にまつわる弁財天【湖の神と川の神（竜神）】があり、葛飾北斎の富嶽三十六景からも美しい諏訪湖、弁財天島撤去に人生を捧げた伊藤五郎や天竜川を利用し、水車で電力をまかない発展した養蚕業。広大な諏訪湖の中でも天竜川の果たしてきた役割を私達はまだまだ活かし、守り切れていない現実があります。 ・神話にまつわる弁財天の存在どころか今や…。この祠の復活を視野に地域の方々に参画頂き、『湖之(うみの)語(かたり)』 諏訪湖ストーリー制作（昔話風）してみたい。 ・徐々に夢もふくらみ、「諏訪湖創生ビジョン」の一員として将来多くの人々が集う場所、まさに湖の驛プロジェクトとして発展し、日本中、世界中に発信していきたい。
一般社団法人 諏訪湖ミズベ リング振興協 会	<ul style="list-style-type: none"> ・諏訪湖ミズベリング開発に関連する研究会・講演会・先進地事例等の紹介 ○延期になっているミズベリング会議の開催 ○元気づくり支援金を使わせて頂く事業への取り組み ・全国一斉の水辺で乾杯(2021)を実施 ○水辺の社会実験 ○水辺での新しいアクティビティを考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミズベリングに興味のある方・一般参加者・事業者他行政関係 ・サポート ミズベリングプロジェクト事務局 	<ul style="list-style-type: none"> ・河川敷地占有許可準則に基づく都市・地域再生等利用区域の指定の許可取得を目標に、賑わいのあるまちづくりのためのミズベリング会議の開催 ○水辺イベント Go on the SUWAKO を開催し、川まち事業を行う。 ・民間活力の積極的な参画で、水辺とまちを考える。 ・地域経済活性化のための観光振興として水辺の新しい活用の可能性を考える。 ・水辺で楽しむ人、水辺でまちを変えたい人、水辺でビジネスを作る人、やりたい人を増やす。 ・全国のミズベリングネットワークとの情報交換。 	<p>新型コロナウイルスによる諏訪湖花火大会等の野外イベントの密をどうするのか今から検討が必要…新しい様式</p>

構成員名	令和3年度活動計画			構成員へメッセージ
	活動の内容及び実施予定時期	参集者・連携団体	目標・実施内容等	
長野県ボート協会	4/11 諏訪湖ロングレース 5/8,9 信毎諏訪湖レガッタ ○7/10,11 全国中学選手権競漕大会 ○7/17,18 北信越国民体育大会（ボート競技） 8月 漕艇場周辺の水草除去 時期未定 親と子のボート教室（下諏訪町漕艇協会主催事業への協力） 9/12 下諏訪レガッタ	①大会出場者（学校、地域住民その他） ②長野県ボート協会役員 ③地元中学・高校ボート部員、地域住民など	各種ボート大会、イベントの開催により、諏訪湖とスポーツに親しむ機会を設ける。	
環境市民会議 おかや	①ヒシ除去体験事業 ②ヒシ除去作業への協力（諏訪湖創生ビジョン） ③環境セミナー	①市民 ②役員 ③市民	①除去による貧酸素対策だけではなく、諏訪湖の現状を知る啓発活動として実施。 環境に関するテーマで講演会を行う。（8月予定）	
太陽工業グループ	河川愛護活動（諏訪湖アダプトプログラム）の実施 令和3年6月、9月、12月、3月（コロナ状況により判断） ・本業における排水処理における水質管理徹底 ・環境管理委員会による環境負荷低減活動 ・緊急事態対応訓練実施（廃油などの漏洩防止） ・諏訪湖創生ビジョン推進会議、諏訪市環境委員会への参画 ・持続可能な循環型社会の実現に向けた研修を実施 ・地域学校への環境教育の実施（キャリア教育の範疇にて）	・太陽工業グループ社員 ・太陽工業株式会社 経営企画部	・清掃活動等による諏訪湖周辺エリアの美化（ヨットハーバー付近） ・排水設備の保全管理（異常0件/年） ・毎月の経営会議でPDCA⇒MR会議にて報告（2回/年） ・訓練実施（2回/年） ・会議に毎回参画 ・SDGs研修（6回/年） ・都度実施	

新たな取組には ○マークを付してあります。